

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立生駒中学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和6年10月25日～11月8日

実施内容

タイトル「読書の秋にこの1冊」

●特別貸出期間

読書週間の期間中、貸し出し冊数を通常の2冊から5冊に増やす、特別貸出を実施しました。

●特集コーナー

図書委員がみんなに読んでほしい1冊を選び、その本の魅力や内容を紹介するカードを作り、カードと一緒に本を展示しました。



児童生徒の様子

5冊貸出は例年通り好評でした。

特集コーナーでは、図書委員が書いた紹介カードを熱心に読んで、本を手にする生徒の様子が多く見られました。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

図書委員の生徒の中には、普段はあまり本を読まないのでものの本を紹介したらよいか悩む生徒もいたが、いっしょけんめいにカードを書いていました。友人同士で、特集コーナーの周りで、本や紹介文について話をしている生徒もみられ、委員会の活動も、読書につながっていると感じました。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立生駒南中学校 ）



実施日 及び 実施期間	令和6年10月1日～11月9日
実施内容	①タイトル「知りたいあなたのおすすめ本第2弾 マンガ」 10月1日～10月31日 第1弾のおすすめ本は9月に行った。「全学年の生徒と先生におすすめのマンガを募集し、オススメコメントとともに図書館で本を展示紹介。」 ②「第3回 お気に入りの一冊をあなたへ 読書推薦文コンクール2023 入賞作品集」10/24～ 公益財団法人博報堂教育財団で紹介された本を推薦文とともに展示 ③イベント「ゴーストミッケ」、「ハロウィン重さ当てクイズ」 小さなゴースト5匹を本の中に隠し、分類番号や著者名をヒントにさがすクイズとハロウィン仕様のびんの重さを手で持っただけで当てるクイズ ④イベント「本の言葉」 委員に心に残った本の言葉（表）と本の書名と著者名（裏）を画用紙に書いてもらい、天井からつるす
児童生徒の様子	①友だちの書いたオススメコメントを興味津々で見に来ていた。貸出しにつながったと思う。 ②推薦文が入賞作品なので、わかりやすく、どんな本が興味がもてるものだったので、興味を持って見て回ってくれていた。 ③クイズ形式のイベントは、生徒たちは大好きなので、たくさんの生徒が参加してくれた。ゴーストミッケは、司書が本の探し方を参加者にレクチャーしながら探してもらったので、図書館での本の探し方が遊びの中で少し理解してもらえたと思う。 ④心に残った本のことを委員12人と先生4人、有志1人の計17人分を天井からつるしたので、インパクトが大きかったようで、作った委員も見に来た生徒も楽しそうだった。
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	様々な取り組みをすることで、着実に多くの生徒にとって気軽に立ち寄れる場所になっている。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立北小中学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和6年10月22日～11月12日

実施内容

タイトル「中学校は図書委員がブックハンティング 小学校には学校司書がブックトーク」



2024
読書週間企画！



図書委員がブックハンティングしました！
書店で、図書館で、ネットで、
本の森の中に分け入って、
これぞという1冊を狩ってきましたよ!!
図書委員のおすすめ本とともに展示しました。
ぜひぜひ読んでみてくださいね!!!

このコーナーの本を借りた人には、読書週間ブックカードをプレゼント！（一人一回）

また、1年生の詩、2年生の短歌、3年生の俳句をファイルにして展示しました。

図書委員が選んだ本の表紙を使ったジグソーパズル大会を今年もやっています。

期間中は貸出数を通常より1冊多くしました。

小学5年生には、夏目漱石やマーク・トウェインなどの文豪11人の作品18タイトルを紹介し、図書館から借りた複本を教室に置いてもらいました。小学6年生にも同様にブックトークをして、図書館の「いい本 みつけた！」に載っている本を中心に『名探偵カッレくん』『この湖にボート禁止』『宝島』など7冊の本を紹介し、絵本を1冊読み聞かせました。



児童生徒の様子

自分の作品を読まれることに恥ずかしがっている生徒もいましたが、他の生徒の作品はやはり気になるようで、テーブルの前にはいつも人だかりがあります。
ブックハンティングの本は、貸出好調です。
小学生は熱心にブックトークを聞いてくれました。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

図書委員の生徒は自分の選んだ本が借りられるのがうれしいようです。図書委員としての自覚が芽生えたようです。
小学生は紹介した本に早速興味を示し、教室で読んでくれているようです。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立緑ヶ丘中学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和6年10月15日～11月15日

実施内容

タイトル「この一行に 逢いにきた」

・期間中、図書館・廊下の数ヶ所に読書週間のポスターを作成し掲示。

・「図書館だより10月号」で
読書週間について告知。

・読書週間の標語に合わせて、絵本の
特集を組んだ。中学生になった今、
子供のころとは違った心にしみる
一行に逢いにきてもらえるように
展示を行った。印象に残る一行を記入し絵本とともに展示。



・図書館入り口横にあるガラスケースに「読書の秋」
コーナーを設置し、読書に関する本を集めて展示
した。

・読書週間期間中、ハロウィンイベントも併せて行い、
館内の飾りつけやハロウィン関連本を展示し、葉を
配布した(10/15～10/31)



児童生徒の様子

絵本の特集展示では生徒たちが休み時間や放課後に友人と一緒に絵本を
楽しんでいる姿が多くみられた。

読書週間期間中に行ったハロウィンイベントでは葉の配布や館内の飾りつけ
などで楽しい気分を味わってもらえたと思う。

思っていたほど貸出数は増えなかったが、来館者数は昨年度と変わらなかった。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

図書館ではそれぞれの楽しみ方でくつろいでいる様子がみられた。

昼休みに図書館に来ることが日課となっている生徒たちが多数おり、
図書館がいこいの場として定着していると感じた。

来館した生徒たちが本を手に取りたくなるように、館内の配架や選書に気を配って
本に親しむ機会を作っていきたいと思う。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立鹿ノ台中学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和6年10月16日～11月11日

実施内容

タイトル「POP祭り！」

図書委員がブックハンティングした本をポップとともに展示しました。そのコーナーの本を借りた生徒には読書週間ブックカバーをプレゼントしています。



また、文化発表会で展示された2年生のポップを国語科の先生が提供してくださったので、本とともに展示しました。



期間中は通常より1冊多く借りられるようになっています。

児童生徒の様子

ポップはかなり生徒たちの注目を集めています。数人で楽し気に話していたり、じっくり見て回っている生徒が多くいました。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

図書委員も2年生もレベルの高いポップのおかげで、本にも関心が集まりました。貸出にも繋がっています。

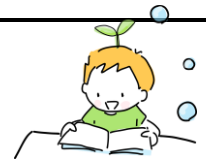
「読書週間（10/27～11/9）」の取組

学校名（ 生駒市立上中学校 ）



実施日 及び 実施期間	令和6年10月27日～11月15日
実施内容	「三者懇談期間中の家族貸出実施」 3年生の三者懇談の日程(11/8～11/14)に合わせて家族貸出を実施しました。10月、11月の図書館通信でお知らせしていましたが、来館された保護者の方は、いつも来館してくださる方で、また3年生の行事に合わせての実施でしたので、他学年で来られた保護者は1名でした。統計的には1日2組ほどの来館でした。 別置「秋の読書推進月間：小中高生が読んだ本ランキング」 11/5の読売新聞に掲載されていた記事を参考に、中学生がよく読む本を展示しました。中高生がよく読む本は、図書館にもほとんど蔵書されており、本校でも貸出の多い本でした。新聞では、中学生の平均冊数は4.1冊とありましたが、上中学生の平均冊数（2024.4～2024.11）は4.8冊でした。また、学年別でみると1年生は6.2冊、2年生は6.1冊、3年生は2.3冊という数字で、明らかに3年生は受験というものが大きく影響していると考えられます。 「この一行に逢いにきた」を見つけよう！ レスリング選手吉田沙保里さんの「約束は覚悟となり、力となる」やプロサッカー選手三浦知良さんの「あきらめる理由を探すんじゃなくてあきらめない理由を探せ」という言葉が載っている『きみを変える50の名言』、「僕もあなたたちと繋がりたい」—『流星の絆』、「困ったって負けるものか」—『坊ちゃん』等の言葉を栞サイズで掲示し、それらの言葉が載った本を別置しました。
児童生徒の様子	読書週間中、1年生の国語でビブリオバトルの授業があり、そのためにあまり見慣れない生徒が図書館にきて一生懸命本を探す様子が見られました。期間中に企画したこととは関係ありませんが、授業で図書館に来てくれたら図書館にどんな本があり、何を展示しているかを見てもらえるので、興味や貸出に繋がるのでは、と思いました。
取組後の変容 (子ども・家庭・教師)	三者懇談期間中の家族貸出は、恒例行事としてご家族に受け取っていただいているが、やはり全学年の三者懇談期間でないと来館数は望めないと思いました。しかし、読書週間のポスター掲示や標語にちなんだ本の別置、新聞の掲示などは、生徒にいろいろな本を知ってもらうきっかけになると思うので、これからも続けていきたいと思います。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立光明中学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和6年11月4日～11月18日

実施内容

タイトル「読書玉入れ大会・出張図書館」

2学期は行事が多くあるので、それに合わせたイベントを行いました。体育大会とタイアップして、読書玉入れ大会を実施しました。玉入れとほぼ同じで籠にボールを入れていくだけですが、ボールを手に入れるためには本を借りる必要があるというルールで玉入れを行いました。体育大会の時の色団ごとに競い合い、優勝チームには担任の先生の一言しおりをプレゼントしました。ハロウィンもあったので大きなおぼけ冬瓜の重さ当てクイズも同時開催しました。

また、光明中学校の構造上、二年生の校舎が図書室から遠いので、二年生のフロアにある廊下で出張図書館を開館しました。図書委員にもお手伝いしてもらい、普段図書室が遠いためなかなか足が向かなかった生徒も多く利用してくれました。



児童生徒の様子

スポーツではなかなか勝てなくても読書でなら学級・色団に貢献できるとよく図書室に来る生徒もより来てくれるようになりました。また、上記の通り物理的に図書室が遠くて縁遠かった生徒もよく利用してくれました。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

様々な生徒がよく利用してくれるようになっただけでなく、図書委員も自分たちが行った取り組みに多くの生徒が反応してくれたことがうれしかったようで、さらに意欲的に委員会活動を行うようになりました。

「読書週間（10/27～11/9）」の取組 学校名（ 生駒市立大瀬中学校 ）



実施日 及び
実施期間

令和6年10月24日～11月14日

タイトル「読書の秋！芸術の秋！」



■先生のおすすめ本パズル

担任の先生のおすすめ本の表紙をパズルにして、本を1回借りるごとにピースとなるシールをはっていくイベントを実施。学年ごとに1番に完成したクラスには、担任の先生特製しおりをクラス全員にプレゼント。

■キャリア教育コラボ企画＆「切り絵展」開催



実施内容

・キャリアプランナー尾崎さんとのコラボ企画として『By Chance～人のキャリアの8割は偶然によってできている』と題し、様々な分野で活躍している社会人たちの中学生へのおすすめ本を展示。人生を変える本に出会えるかな？！

・『芸術の秋～切り絵の世界～』：サポートルーム「えん」の先生方の素敵な切り絵作品を、切り絵関係の本と共に展示。

■保護者向け開館の実施

進路懇談・参観に合わせ、保護者の方にも学校図書館を利用していただきました。

■出前図書館ブックトーク（生駒市図書館南分館より）

2年生を対象に「へいわとせんそう」をテーマに本を紹介していただきました。

児童生徒の様子

担任の先生のおすすめ本をみんなで推理する生徒、さっそくその本を借りる生徒など、みんな楽しそうに参加していました。景品のしおりの逸品ができあがり、クラスみんなでお揃いの思い出の品となったようです。

取組後の変容
(子ども・家庭・教師)

おすすめ本パズルでは、生徒、先生ともに、「この先生、この本が好きなんだ！本について聞いてみよう」と本について話すきっかけづくりにもなったようです。これからは読書を通しての交流が広がっていくと嬉しいです。